

令和6年第1回おいらせ町議会定例会

一般質問通告書（5人）

順位	議席番号	議員氏名	質問方式
1席	1番	小向幸祐議員	一問一答方式
2席	3番	小笠原伸也議員	一問一答方式
3席	11番	平野敏彦議員	一問一答方式
4席	10番	日野口和子議員	一問一答方式
5席	7番	澤上訓議員	一問一答方式

順位	1席	議員 氏名	1番 小 向 幸 祐	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	------------	------	--------

1. 地震津波における防災対策について

- (1) 今年は能登地震から始まり、元旦から防災について特に考えさせられる年になりました。
津波警報・大津波警報発令時、浸水対象地区ごとの人口はどのくらいになる試算なのかお伺いいたします。
- (2) 津波警報等が発令された場合、特に浸水地区において高齢者や障がい者、一人親世帯等において、津波発生時の避難の際に介添えやフォローが必要な世帯や人数はどのくらいいるものなのかお伺いいたします。
- (3) 災害発生時において警察や消防、消防団や関連企業、町内会等の津波発生時に避難の対応が可能な動員人数についてお伺いいたします。
- (4) おいらせ病院における、津波警報発令時の入院患者等の移転や避難の想定や対策についてお伺いいたします。

2. 農業農地問題について

- (1) 農家の高齢化や後継者等の人材不足の問題、人件費や物価高騰等による農業をやっても採算が合わないなど、農業を取り巻く環境は年々悪化しております。
来年度予算策定にあたり、この分野での町の基本的な対策、重点項目についてお伺いいたします。
- (2) 近年、遊休農地が当町でも目に付くようになってきています。
この問題について、今現時点で把握している現状と今年度の対応したこと、来年度の対策についてお伺いいたします。

3. 企業誘致について

- (1) 今後、当町でも人口が減少していくことが統計上、示されてはおりますが、この対策の一環として企業誘致も有効だと思います。
来年度予算策定にあたり、この分野での町の基本的な対策、重点項目についてお伺いいたします。

順位	1席	議員 氏名	1番 小 向 幸 祐	質問方式	一問一答方式
<p>(2) おいらせ町工場誘致奨励条例を活用した企業数や、奨励金の交付実績が条例制定以降どのくらいあるのか、また、近年の動向をお伺いいたします。</p>					
<p>4. 広報・情報発信について</p>					
<p>(1) 近年の情報化社会の流れはめまぐるしく、おいらせ町の魅力を発信していくのは、町に人を集め活性化を図るためにとっても重要だと考えますが、現状、情報発信ツールの更新頻度が遅いように感じます。</p>					
<p>現時点でのホームページやSNS等の情報発信ツールの運用方法(更新サイクル等)はいかがなものになっているのかをお伺いいたします。</p>					

順位	2席	議員 氏名	3番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

1. 「ごみの減量」に対する取り組みについて

令和5年12月18日に開催された町内会長連絡会議で、おいらせ町のごみ処理負担金が、十和田市の焼却施設の修繕等のために年間2億4,437万円になると担当課から詳しい説明があった。各町内会にごみの減量化に取り組むよう協力依頼をしたものである。その後、各町内会長へアンケートを実施、広報おいらせ2月号では3ページにわたり特集を組んでいる。そのことを踏まえ、ごみ減量に対する取り組みについて「行政の本気度」は。

(1) 負担金について

- ア. 行政からみて2億4,437万円の負担金をいくらか減らせるメリットがある一方、町民のメリットは何か。
また、町民税が減るのかどうか伺う。
- イ. ごみ減量化により負担金が減ることだが、その浮いた経費の用途は何か伺う。

(2) 家庭ごみの分別について

- ア. 現在「可燃ごみ」「不燃ごみ」「紙」「プラ・ペット・缶」に分けてごみステーションに出しているが、ごみ減量に対しさらに家庭に工夫や負担を強いるものか伺う。
- イ. ごみ全体の89%（7,308トン）を占める「可燃ごみ」のうち、さらに27.8%（2,032トン）が生ごみ類と説明されている。家庭ごみの生ごみを減らせば減量に取り組んだことになるのかどうか伺う。

(3) 町から出るごみについて

- ア. おいらせ広報2月号2ページに「各家庭から出されたごみ」（家庭ごみ）と「会社や商店などの事業所から出されたごみ」（事業系ごみ）の合計が町全体のごみ排出量8,215トン・・・との記述がある。会社や商店などにどの程度ごみ減量化の協力依頼をするのか伺う。

順位	2席	議員 氏名	3番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
<p>(4) 目標値について</p> <p>ア. ごみ減量の1人当たりの目標数値があるのか伺う。</p> <p>イ. ごみ減量化の状況を把握できる表やグラフをデータ提示できれば町民からみて分かりやすい。町内会ごとに達成状況がわかるデータを提供することは可能かどうか伺う。</p> <p>(5) 組織について</p> <p>ア. 町民課のほか、教育委員会等協力はあるのかどうか。また、小中学校に協力依頼しポスターや書道、標語作成依頼をする予定があるのか伺う。</p> <p>イ. 町廃棄物減量等推進審議会とは具体的に何を話し合う会議なのか伺う。</p> <p>(6) マナー等について</p> <p>ア. 行政全般に対する意見・要望として各町内会から毎年のように「ゴミ出しマナーの低下」問題が出されている。ルールを守らない行為への対策はないのか伺う。</p> <p>イ. 学校行事の一環として海岸を清掃したり、企業がボランティア活動として道路や河川を清掃したり、おいらせ町の環境づくりに貢献している事例があれば伺う。</p> <p>2. 冬季の町民プール活用について</p> <p>おいらせ町民プール条例には、町民の心身の健全な発達とスポーツ・レクリエーションの振興を図ることが明記されている。</p> <p>(1) おいらせ町民プールは、冬季は利用期間外となっている。屋内のスポーツ施設であることから、プールの水を抜いた状態で冬季利用できるようにしてみてもどうか。グラウンドゴルフや少年野球、サッカー等の基礎トレーニング程度の練習に貸し出すことはできないか伺う。</p>					

順位	2席	議員 氏名	3番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

3. おいらせ病院に無い診療科目について

現在おいらせ病院は、常勤の医師がおり、内科や外科、小児科は、毎日診療が可能である。一方、耳鼻科と歯科が無く、皮膚科や眼科は、月2回程度になっている。新おいらせ病院として移転した場合には、診療科目の充実が求められる。

(1) 新たに医師を確保し、診療科目を増やす考えはないか伺う。

(2) おいらせ病院付近に土地を確保し、個人病院を誘致する考えはないか伺う。

順位	3席	議員 氏名	11番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

1. 北海道・三陸沖後発地震注意報こうはつの運用開始後の取り組みについて

- (1) 「北海道・三陸沖後発地震注意報」の運用開始から、令和5年12月16日で一年が経過しました。7道県182市町村が対象となっております。政府は甚大な被害を軽減するために必要な情報としておりますが、自治体の取り組みは後手に回っているとあります。青森県では「沿岸自治体がホームページやポスター掲示といった情報発信のほか、広報に努めてきた」とのことだが浸透したとは言い難い。宮下県知事も「現状ではほとんど周知されていない」と強い危機感を示しております。当町のこれまでの取り組みの実態についてお伺いいたします。
- (2) 後発地震注意報が発令された場合、町の対応と自主防災組織との連携についてお伺いいたします。
- (3) 1月の能登半島地震では避難所の過酷な寒さが指摘され、多数が身を寄せる避難所の防寒対策が急務とあります。当町の冬の避難所の運営についてお伺いいたします。
- (4) 能登半島地震で、発生直後から家族等の安否を確かめる問い合わせが石川県内自治体に殺到したとあります。青森県の死者・安否不明者の氏名公表基準についてお伺いいたします。
- (5) 当町では、死者・安否不明者の氏名公表についてどう対応するのかお伺いいたします。

2. おいらせ町職員の採用について

- (1) 令和6年1月4日から22日まで募集の職員採用試験（令和6年4月採用）の結果について行政職・社会福祉士・看護師、それぞれの応募者数、受験者数及び合格者数についてお伺いいたします。
- (2) 当町の人事行政等の概要では初任給については、国・県に準じておりますが、1級から6級までの昇格基準についてお伺いいたします。
- (3) 令和4年4月1日時点の県内市町村のラスパイレス指数をみると、当町は95.4となっており、上北郡内では最下位となっております。町では改善するとありましたが、令和6年1月末改善の結果についてお伺いいたします。

順位	3席	議員 氏名	11番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

3. 大谷翔平選手寄贈のグローブについて

- (1) 米大リーグドジャースの大谷翔平選手が、日本国内の全小学校に3個ずつ寄贈したグローブについて、当町小学校5校のお披露目の方法及び活用内容をお伺いいたします。
- (2) 野球を楽しんでもらう「野球をしようぜ。」と子供たちが夢をかなえる取り組みは、野球をしている少年・少女をはじめ、小学校のスポーツに関心興味を抱かせる絶好の機会と思いますが、当町の方針と取組についてお伺いいたします。

順位	4席	議員 氏名	10番 日野口 和子	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	------------	------	--------

1. 北部地区にスポーツジムの整備をする考えは

(1) あらゆる地区でもそうだろうと思いますが、北部地区でも高齢化が進み、健康を維持するためにも、スポーツジム等の整備を要求する方たちが多数おり、その方たちの真剣な思い、顔、目を見ておれば是非とも整備するべきと思います。行政サイドの積極性が求められます。町長のお考えをお伺いします。

2. 危険環境を改善するため早急な行政指導を

(1) 今年は雪も少なく安心しておりますが、気比神社内の大樹が枝を張り県道の真中を越え、電線にもからまっております。昨年のように樹上雪の重みで枝が路上に散乱し、交通事故が起こるのではと不安が続いています。また西側は木ノ下中学校の通学路にもなっており、人災等が起こってからでは遅いので一日も早く解決に向けての対策についてお伺いします。

順位	5席	議員 氏名	7番 澤上 訓	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	---------	------	--------

1. 町防災計画について

- (1) 能登半島地震の被災状況を見て、避難することの大切さというものを痛感した。しかし、車で避難できる場合と徒歩で避難する場合の違いや、災害発生時が早朝、あるいは日中、夕方、深夜等、それぞれの状況により避難先等に変化が生じてくると思う。例えば、桃川さんや百石高校さんが開いていない場合など、町民の皆さんが物凄く不安を感じると思う。そのためにも、今一度チェックをし、何通りかの避難方法を整理して町民へ周知する必要があるのでは。
- (2) 能登半島地震のような電柱や家屋、橋の倒壊があれば、車での避難は非常に難しい。しかし、東日本大震災時のような場合には、津波対策として車での避難が可能である。例えば本町地区の住民が多賀台方面に避難した場合、八戸の避難所にスムーズに入れるのか、その辺の連携について、八戸市と提携しているのか伺いたい。
- (3) 2月のデーリー東北新聞に冬の避難所対策について、記事が掲載されていた。1995年の阪神大震災や2011年の東日本大震災など近年の災害でも、寒さなどで体調を崩して亡くなる「災害関連死」が相次ぎ、冬の避難所対策が問われているといった内容である。今回の能登半島地震では、凍死や低体温症で命を落とした人が30人以上に上ったと聞いている。もし、当町の災害が冬場であった場合、避難所の暖房器具や寝具（毛布等）など、どの程度整備されているのか伺いたい。
- (4) また、冬の避難所運営訓練についての記事もあった。県南地方の市町村は調査時点で未実施が7割近くに及んでいるようだが、未実施の理由が「高齢者が多い」「体調を崩す人が出る」など参加者への考慮を挙げているようだ。町としての考えはどうか伺いたい。
- (5) 最後に、命の問題について考えてみたい。特に低体温症は、①低い気温環境②高齢者③ぬれた衣類や冷たい床など体温を奪うものとの接触④疲れなどによる熱を生み出す能力の低下という四つの因子が大きく影響して発症すると新聞記事にもあった。このことは、町民も認識しておく必要があると思うので、その対策を町としてどのように考えていくのか伺いたい。